

## ○麻黄附子細辛湯エキス顆粒 (127) [ツムラ] [内]

【重要度】 【分類】 漢方製剤

【単位】 ○2.5g/包

【常用量】 7.5g/日

【用法】 分3 [食前又は食間]

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 小陰病で発病初期の表証のあるものに用いる。虚弱者や高齢者などの感昌、気管支炎、気管支喘息などに用いられる。目標は、悪寒、微熱、脈沈細、全身倦怠、無気力などで、附子、細辛は温薬で血行を盛んにして身体をあたためる。そこで麻黄に附子・細辛を加えて脈沈細で無気力なものを治す。

【主な副作用・毒性】 発疹・発赤、不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮、肝機能検査値異常、口渇、食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、排尿障害、のぼせ、舌のしびれなど

【更新日】 20150217

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。